

今年1年ありがとうございました

今年度も残すところわずかとなりました。この1年、こどもたちは学校生活の中で様々なことを経験しながら少しずつ成長してきました。学習や行事だけでなく、友達との関わりの中で、思いやりや助け合いの大切さも学んできました。

道徳というと、少し難しく感じるかもしれません。しかし、特別なことではなく、毎日の生活の中にあるものです。朝、元気に挨拶をすること。友達に優しい言葉掛けをすること。困っている人がいたら、手を差し伸べること。こうした小さな行動が、周りの人との信頼や安心につながっていきます。

学校生活の中では、ときには友達と意見が合わなかったり、気持ちがすれ違ったりするときもあります。そんなときこそ、相手の気持ちを考えようとするのが大切です。「どうしてそう思ったのだろう」と考えることで、相手のことを理解し、よりよい関係をつくることができます。

新しい学年になっても、自分らしく、周りの人を大切にしながら成長して行ってほしいと願っています。また、保護者、地域の方々には、この1年間あたたかく本校の道徳活動に対し、ご理解をいただき心より感謝申し上げます。これからもこどもたちの心の成長を、学校・家庭・地域で一緒に支えていきたいと思っています。

(文責:道徳教育推進教師 久慈 利幸)

4年生の道徳科の時間

この日の授業では、同じ好きなものであっても、国が違くと好きなものも違うということ、絵や写真を見て認識・実感できる教材で考えました。世界の国々のこどもたちの価値観がこれほど違うということを知る機会にもなりました。

主題名:世界の人々に親しむ **教材名:**わたしの大切なもの

内容項目:「国際親善、国際理解」

あらすじ:世界のこどもたちにもいろいろな大切なものがあります。家族の一員として飼っている家畜。先住民が使っていた模様。人々の間で交わされる挨拶など、それぞれの国の様子や家族の様子を反映した「大切なもの」を知る中で、他国の人々や文化に親しみ、関心をもって触れ合おうとする態度を育てる教材です。

教師の問い

自分の大切なものを絵や言葉で表してみよう!

こどもたちの考え

- ・自分の家族や友達です。
- ・ゲームです。
- ・食べ物です(食べるものがないと生きていけないから)。

授業の後半では、主題名である「世界の人々に親しむ」について、あらためてこどもたちの考えを聞き、ふり返りをしました。

教師の問い

世界の子もたちの「大切なもの」と自分の「大切なもの」を比べましょう。同じところは? 違うところは? 違いを知って驚いたことはありますか?

こどもたちの考え

- ・国によって大事にしているものが違うところ です。
- ・祖先の文化を大事にしているのはとても大切なことだと思っし、私も大切にしていきたいと思いました。
- ・自分の大切なものが、世界の国々では大切ではないと知って、驚きました。

板書・授業の様子です。

